

資産運用EXPO開く

区分マンション、底堅い人気

「第5回資産運用EXPO春」が1月14日から16日の3日間、東京ビッグサイトで開催された。資産運用EXPOは、不動産投資・株式・保険などが出展する日本最大級の投資商品の展示会で、東京で春と夏、大阪で年3回開催される。

今期の来場者は1万3030人で、昨年1月に開催した第4回の7979人と比べて大幅に増加（主催のRX Japan調べ）。ウィズコロナ

の行動様式が浸透し、投資への関心が依然として高いことが証明された。

不動産投資の領域で来場者の高い関心を集めていたのが、都心の中古ワンルームの販売・賃貸管理を行う日本財託のブース。

物件の選定とともに賃貸管理の重要性を掲げ、営業スタッフの5倍以上の人数が賃貸経営サポートを行う同社では、EXPO限定物件も用意。キャッシュで契約する

など会期中にまとまった商談も多く、将来的・安定的に家賃収入を得られる都心の中古マンション投資の関心が依然として高いことが示された。不動産クラウドファンディングも手がけるリビングゲコーポレーションは、独

自のTEN-FOUR CUBE工法で高さ制限（10m）の立地の場合、3階建てまでの建物を建築することが可能だが、同社は4階建てを実現し、収益性の高い新築投資用物件で知られている。



出展した日本財託のブース